

クラブ・個人表彰

クラブ表彰

| | |
|--------|--|
| 少林寺拳法部 | 2008年度第11回関東高等学校少林寺拳法大会 男子団体の部 第六位 |
| 硬式テニス部 | 私立中学大会男子ダブルス 第5位 (中2 市川世識・折笠良輔組) (中2 藤野大輝・本宮広之組) |

個人表彰

| | | |
|----------------------|---------|------------|
| 第17回国際高校生選抜書展「書の甲子園」 | 入選 | 〈高1 佐藤 敦〉 |
| 実用数学技能検定一級 | 文部科学大臣賞 | 〈高1 足立 智〉 |
| 第7回日本ジュニア数学オリンピック | 優秀賞 | 〈中1 河野 玄斗〉 |
| 中学3年百人一首カルタ大会 | 優勝 | 〈中3 上島 浩史〉 |
| | 準優勝 | 〈中3 樋口 慎〉 |
| | 3位 | 〈中3 今野 翔也〉 |
| | 4位 | 〈中3 金井 俊彦〉 |

魅力ある部活動を訪ねて

第1回 陸上部

根岸森林公園で

伸び伸び活動

陸上部の部員数は中学高校合わせて四十名余り。顧問は英語科の脇濱継資先生と石渡巧先生です。主な活動場所は校舎の裏にある広大な根岸森林公園です。そのせいか陸上部の活動はあまり周りの生徒にも知られていません。今回はこの陸上部の活動に注目していきたいと思えます。

練習日は、月、火、木、土曜日。前述したとおりスベイスなどの問題から、学校のグラウンドではなく根岸森林公園で活動を行っています。森林公園は景色もよく、自然の中で伸び伸びと活動しています。しかし正式なトラックで練習をすることも必要になるため、時々三ツ沢や大和、小机などの競技場に出かけて校外練習を行ったり、夏の合宿では越後湯沢に出かけて本格的に練習をしたりしています。

部員は長距離走と短距離走をする生徒に基本的に分けられ、ハードルなど各種



それぞれ自らが計画した練習プランを真面目にこなしています。以前にはコーチをお願いしたこともありましたが、与えられた練習メニューを無自覚にこなすよりも、「何のための練習か」を各部員が意識しながら練習することで、技能が上がるようになったそうです。フォームの改善やインナーマッスルの強化など、様々なことを、生徒自らが研究して取り組んでいます。

生徒たちは、お互いに声を掛けながら練習するようになっています。二人の先生のお話によると「陸上部は個人競技だからこそ、チームワークを意識しなければ楽しくない、部活動が成り立たない」という考えで、この習慣を特に徹底されているとのことでした。そのため人間関係については、あえて顧問から口を挟まず、部員たちを温かい目で見守っています。具体的

には、昨年からは聖光祭で焼きそば屋を出店するなど、各学年間のコミュニケーションがとれる場を積極的に設けられているそうです。部員には様々なタイプがあり、単に体力維持を目的とする生徒もいれば、大会で上位入賞を狙う生徒もいます。陸上競技は、試合にはほぼ出場できるため、たとえ低いレベルであっても、それぞれのスタートから自分なりの目標に向かって挑戦できるのが魅力だと言えます。顧問の先生方は「それぞれの目標を目指して完全燃焼できるように、また、それぞれの人が居場所のあるようなクラブにしたい」「最終的には、陸上を通してひとりひとりが内面的に成長してくればよい」と、お話されていました。

「横濱開港150周年記念コンサート」みなとみらい大ホールで開催



去る、六月一日(月)、横濱開港百五十周年を記念して、みなとみらい大ホールにて聖光学院主催の「横濱開港150周年記念コンサート」横濱とキリスト教

文化」が実施された。在校生、卒業生、保護者、教員などが、日ごろの練習の成果を思う存分発揮した。

また、今回、特別豪華ゲストとしてテノール歌手の新垣勉氏によるトークとコンサートも行われ、最後に新垣氏も含めた全員による合同演奏で幕を閉じた。

なお、昨年の会報でも案内したが、在校生の保護者や卒業生、教員(その家族も含む)を中心とした聖光学院管弦楽団の参加者も引き続き募集している。参加ご希望の方は学校HPをご覧ください。

退任・新任の先生

退任

田畑 晶久
(たばた・あきひさ)



昭和12年2月17日生
昭和34年4月1日(昭和42年3月31日)数学科教諭
平成15年4月1日(平成21年3月31日)数学科非常勤講師

新任

川名 大
(かわな・はじめ)



昭和14年3月31日生
昭和38年4月1日(昭和45年3月31日)国語科教諭
平成12年4月1日(平成21年3月31日)国語科非常勤講師

新任

大倉 崇
(おおくら・たかし)



現在 中学一年生と二年生の生物を担当
中学一年C組の担任
少林寺拳法部顧問

38期卒業 理科教諭

は、大学生の頃から強くなり始めました。念願が叶った今、どれだけのことかできるかを自問自答しながら、毎日を元気に過ごしております。

元氣なくして、なにがでるでしょうか。日々、生徒から元氣をもらい、生徒にも元氣を与え、活気のサイクルを作り出せるよう努力していきます。

地理的には横濱の中心部に近く位置する聖光学院。この場所から元氣を吹き出せば、横濱も日本も活気に満ちあふれます。これからの五十年、聖光学院がそうあり続けられるよう尽力していきます。

編集後記

今回の校友会報は以下の広報委員会中心に作成編集しました。

- 委員長 茅野 誠(9期)
- 委員 中馬 秀和(11期)
- 委員 花家 徹(13期)
- 委員 狩野 靖夫(14期)
- 委員 高橋英一郎(14期)
- 委員 伏見 靖(20期)
- 委員 榎田 恭平(27期)
- 委員 澤田 光生(27期)
- 委員 加賀美博之(31期)

尚、委員長の交替があり、石原義一(3期)前委員長ご苦労様でした。高倉俊一(3期)初代委員長から三代目となります。今回は紙面は四面となり

ました。これも各広報委員のメンバーが活発に活動してくれたおかげです。感謝。

さて、今回から、クロージャーがなくなった代わりに、現在の聖光学院の現況をお伝えする試みとして、在校生の活動を一部紹介するシリーズを始めました。第一回は、陸上部を取り上げましたが、次回以降もご期待下さい。

今回の特色はなんとと言っても、新たに発足した「聖光シニア会」などの様々な校友会員の活躍や近況を報告出来たことです。

これからは、同期会や同窓生の活躍を広く校友会員にお伝え出来ればと考えております。

第1部

加藤音楽科教諭によるパイプオルガン演奏

第2部

聖光学院ドルチェオラス(在校生や卒業生の歌の大好きなお母さんたちの集まり)

第3部

聖光学院グリークラブによる声楽とハンドベルの演奏

第4部

テノール歌手の新垣勉氏によるトークとコンサート

第5部

聖光学院弦楽オーケストラ部による演奏

第6部

聖光学院吹奏楽部による演奏

第7部

合同演奏